

## 東山地区が名古屋市エコ事業所優秀賞を受賞

本学東山地区の環境に関する取り組みが、名古屋市エコ事業所優秀賞を受賞し、2月4日(水)、名古屋市中区役所ホールにおいて、表彰式及び事例発表会が行われました。

名古屋市では、事業者の自主的な環境保全の取り組みを促進するため、平成13年度からエコ事業所認定制度を開始し、平成19年度から名古屋市エコ事業所優秀賞の制度を策



表彰式の様子

定しました。優秀賞は、エコ事業所のうちCO<sub>2</sub>削減やゴミの減量に成果を上げているなど、特に優秀で他の模範となる取り組みを実施している事業所を表彰し、優秀な事例を広く紹介することによって、エコ事業所全般における意識の向上及び環境配慮活動のレベルアップを図るものです。

今回は、17事業所の応募があり、5事業所が優秀賞に選ばれました。本学東山地区の受賞理由として、①エネルギーマネジメント研究・検討会が省エネルギーのためのさまざまな調査・研究を行い、研究成果を毎年報告し広く社会に発信していること、②環境負荷低減のための空調及び照明のインバータ化、高効率変圧器導入、複層ガラス・遮熱フィルム・遮熱塗装の採用、デマンド監視などの実績、③毎月のエネルギー使用量、省エネに関する取り組みのHP掲載、④省エネ推進担当者(約900人)を選任し、日常的に省エネ行動を実行する体制を整備していること、などが挙げられました。

事例発表会の内容は、施設管理部のホームページ(<http://web-honbu.jimu.nagoya-u.ac.jp/FMD/INDEX.HTML>) エネルギー情報→名古屋市エコ事業所優秀賞に掲載しています。

## 防災教育チャレンジプラン優秀賞を受賞

2月14日(土)、小学校での防災教育実践「土地の古老の三河地震被災体験談から学ぶわたしたちの防災術」が、内閣府の防災教育チャレンジプラン優秀賞を受賞しました。

木村玲欧災害対策室助教を代表とする歴史災害教訓伝達プロジェクトは、この5年間、死者2,306人を出した東海地方の歴史災害「1945年(昭和20年)三河地震」について、被災者へのインタビューによって災害像と教訓を視覚化・物語化する活動を行ってきました。特に最近の1年は、被災体験談・絵画をもとにした防災教材・教育プログラムを開発し、安城市内の志貴小学校、祥南小学校、桜林小学校

の3校において実践を行ってきました(本誌183号、186号、189号に掲載)。

本プランでは「1クラス・1年間」、「多人数・2時間」という2つのプログラムを実践し、その中で、地域の歴史災害である三河地震を学ぶことで子どもたちの防災マインドを高め、自発的に学習・活動するプログラムを作り、更には学習成果を家族や地域に還元する仕組みを作りました。最終報告会では、木村助教とともに、志貴小学校の岩月佐江子先生、6年生の酒井夏海さん・中根可南子さんが発表を行い、2人の児童が審査員の前で三河地震の被災体験劇を上演しました。これらの一連の実践について「地域の歴史災害を児童が学び、その成果を地域へ還元する素晴らしい防災教育実践」との評価をいただき、受賞が決定したものです。

今後も、教育研究活動および地域貢献活動として本活動を推進していく予定です。



最終報告会の様子



授賞式の様子(楯を受けとっているのが岩月先生、後ろの左から木村助教、中根さん、酒井さん)